

平成 28 年度伴走型小規模事業者支援推進事業

豊浦町観光実態調査報告書

## 1. 調査概要

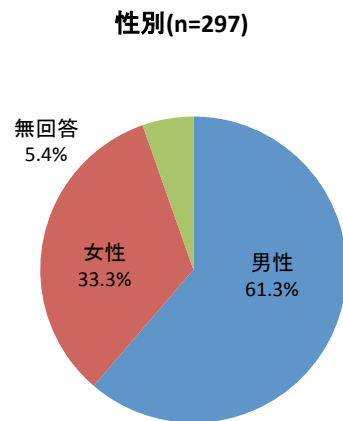
目 的	豊浦町立寄り者の実態と観光ニーズの把握
時 期	平成 28 年 10 月 15 日(土)～ 10 月 16 日(日)
地 域	豊浦町
対 象	豊浦町道の駅に來訪した一般個人男女
回収サンプル数	297 サンプル
方 法	面接聞き取り
調 査 項 目	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 出発地、目的地</li><li>・ 北海道観光の実態(頻度、訪問地、関心がある観光未経験地)</li><li>・ 豊浦町の立寄り状況(予定の有無及び理由、目的、立寄り先、消費金額、 豊浦町のイメージ、特産品認知及び関心、豊浦町観光で期待する施設)</li><li>・ 属性(性別・年齢・現住地・職業・趣味)</li></ul>
調 査 主 体	豊浦町商工会
実 施 機 関	株式会社 TAISHI

## 2. 調査の結果

### (1) 回答者の属性

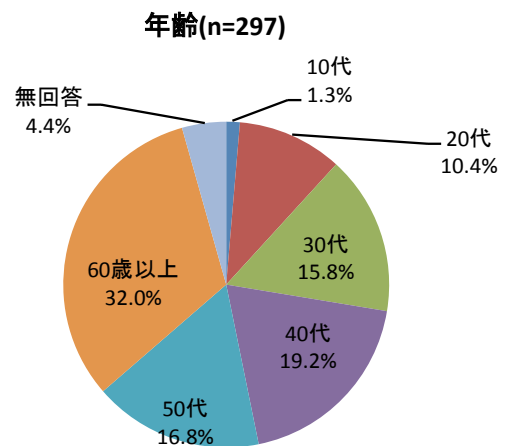
#### (1-1) 性別

回答者は、やや男性が多く  
(61.3%)  
女性は 33.3%であった。



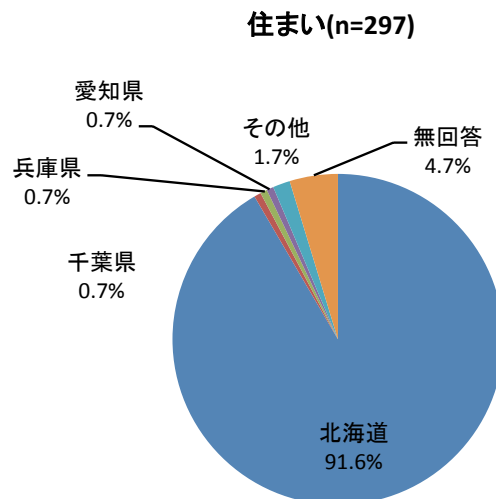
#### (1-2) 年齢

60歳以上が最も多く (32.0%)、  
次いで 40代 (19.2%)、50代  
(16.8%) となっている。



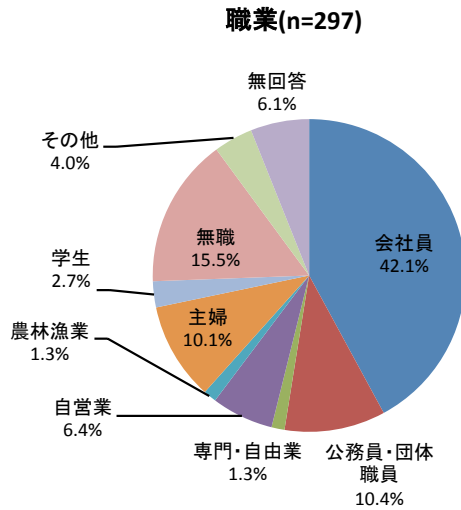
#### (1-3) 住まい

北海道在住が大半であったが  
(91.6%)、千葉県 (0.7%) や  
兵庫県 (0.7%)、愛知県 (0.7%)  
に居住地を持つ回答者もいた。



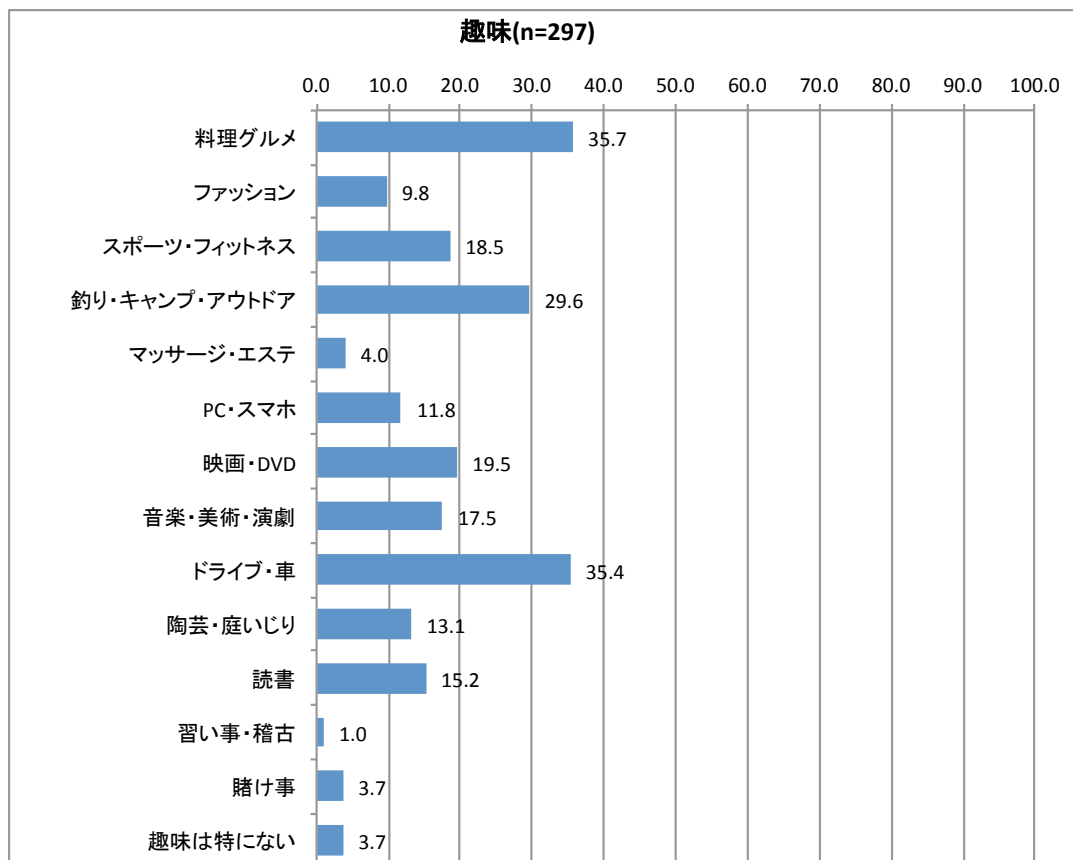
#### (1-4) 職業

会社員が最も多く（42.3%）、続いて公務員・団体職員（10.4%）となり、無職（15.5%）、主婦（10.1%）とつづく。



#### (1-5) 趣味

料理・グルメが最も多く（35.4%）、次いで、ドライブ（35.4%）、釣り・アウトドア（29.6%）となっている。

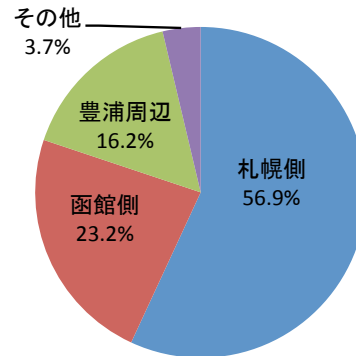


## (2) 旅行の出発地・目的地

### (2-1) 出発地

札幌側からが最も多く  
(56.9%)、函館側から豊浦町に立  
ち寄った割合は2割り程度であっ  
た(23.2%)。  
豊浦町周辺は16.2%であった。

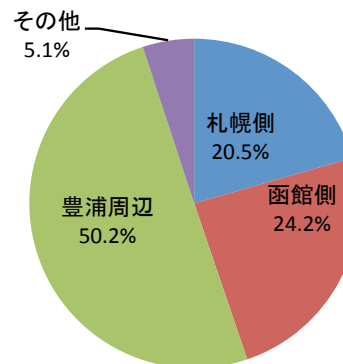
旅行の出発地(n=297)



### (2-2) 目的地

目的地は「豊浦周辺」が最も多  
く(50.2%)、次いで函館側  
(24.2%)、札幌側(20.5%)とな  
っている。

旅行の目的地(n=297)

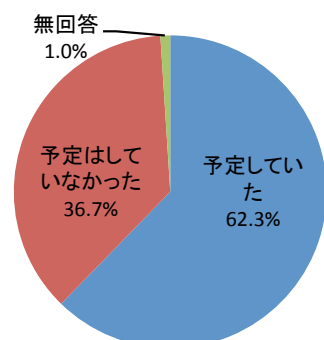


## (3) 豊浦町への立ち寄りについて

### (3-1) 予定の有無

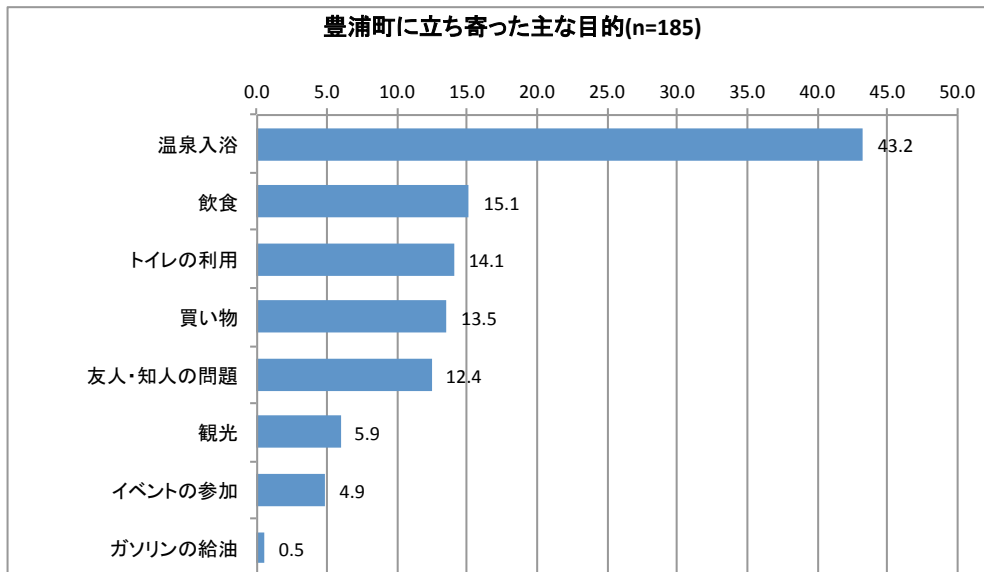
豊浦町への立ち寄りを予定していた  
旅行者が最も多い(62.3%)。

豊浦町に立ち寄り予定(n=297)



### (3-2) 立ち寄りの目的

「温泉入浴」が最も多く（43.2%）、次いで、飲食（15.1%）、トイレ利用（14.1%）とつづく。

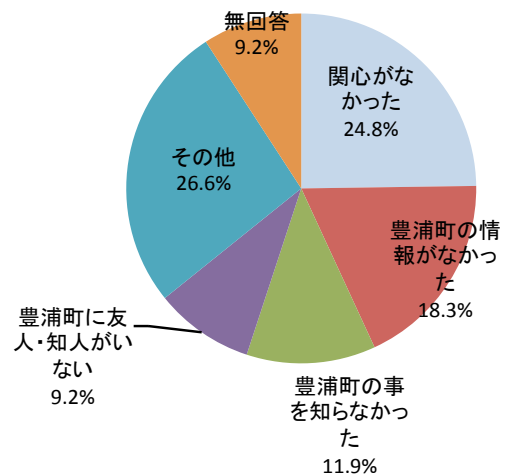


### (3-3) 立ち寄り予定がなかった理由

立ち寄りの予定がない理由は、「関心がない」が最も多く（24.8%）、次いで、「豊浦町の情報がなかった」（18.3%）、「豊浦町のことを知らなかった」（11.9%）であった。

したがって、立ち寄りを予定していなかった旅行者のうち、約30%は事前に豊浦町の情報があれば立ち寄りを予定していた可能性がある

豊浦町に立ち寄り予定がなかった理由 (n=109)

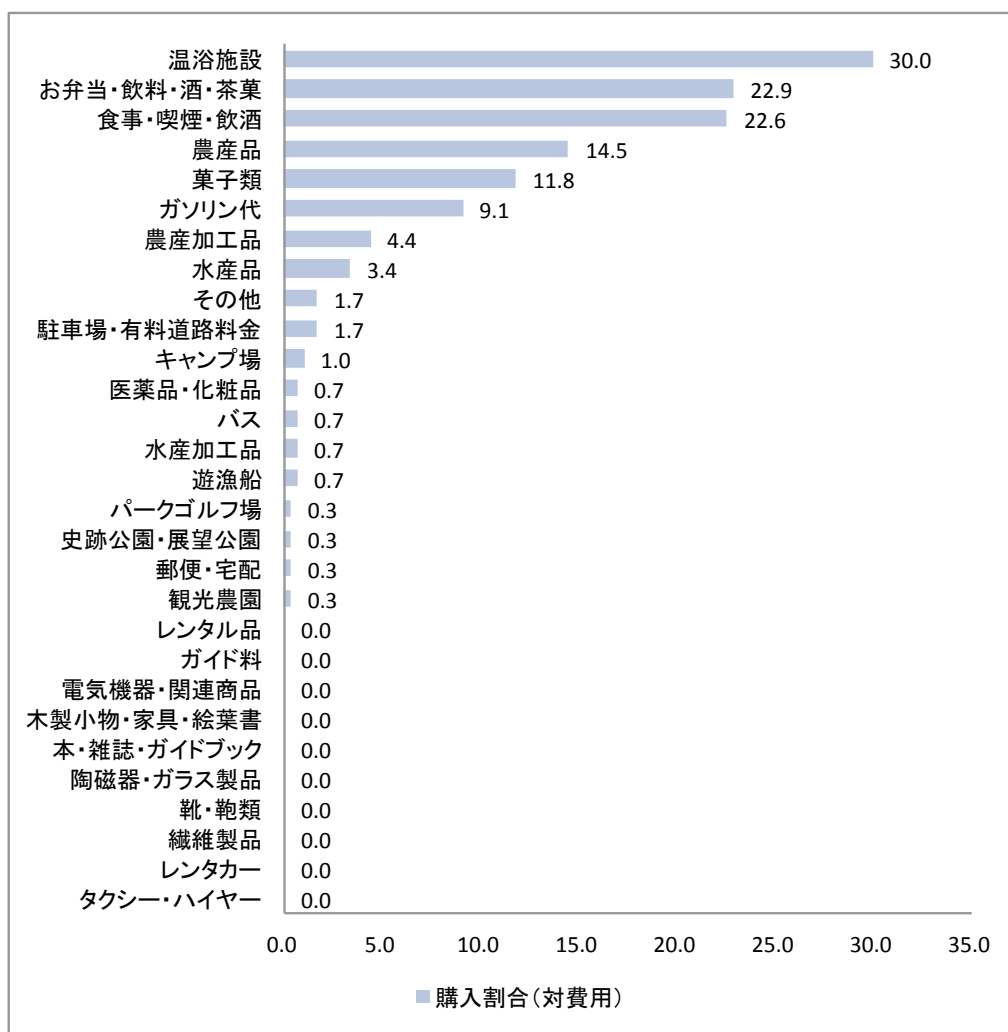


### (3-4) 町内での購入品目・消費金額

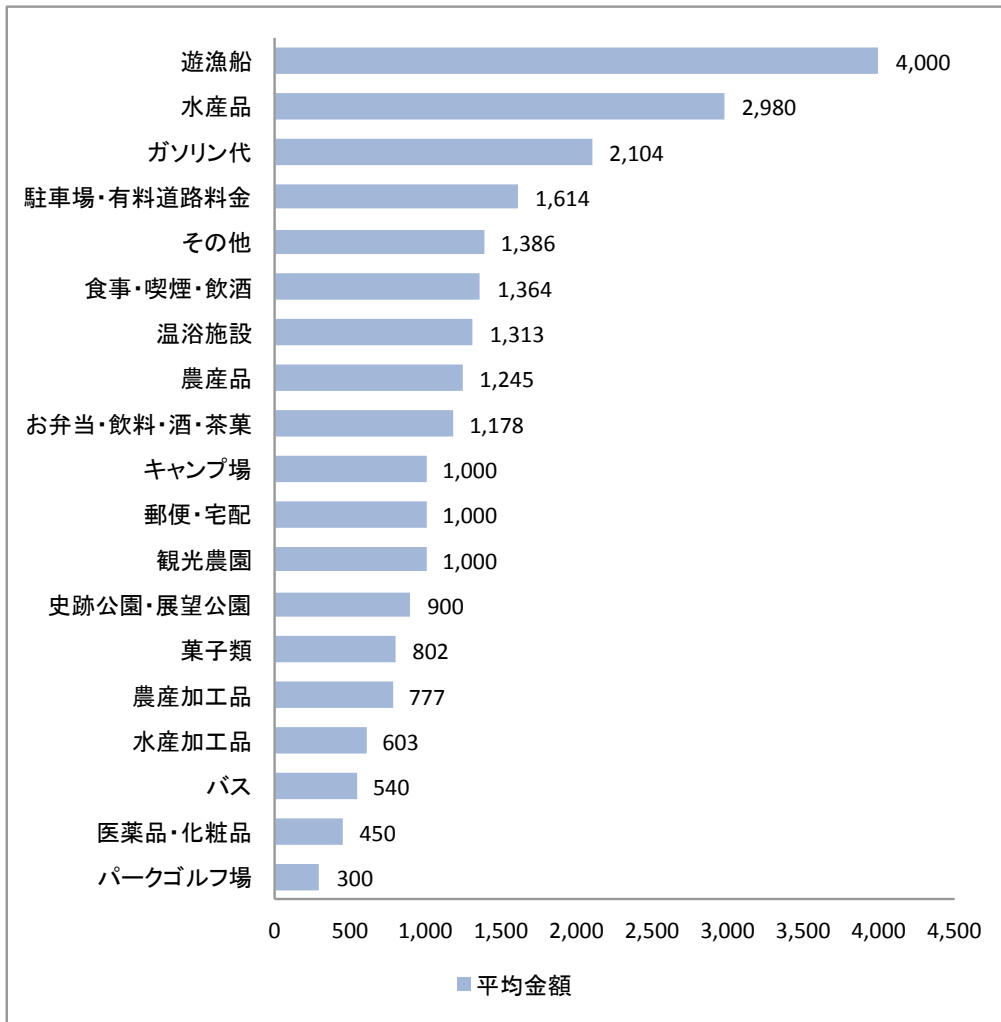
豊浦町に立ち寄った旅行者が町内で購入した商品・サービスは「温泉施設」が最も多く、次いで「弁当・飲料」の購入、「食事」となっている。

消費金額は、「遊漁船」が最も大きく、次いで水産品、ガソリン代となっている。

#### ■豊浦町立ち寄り者の町内購入品目（%：N=297）



■豊浦町立ち寄り者の町内消費金額（円：N=297）

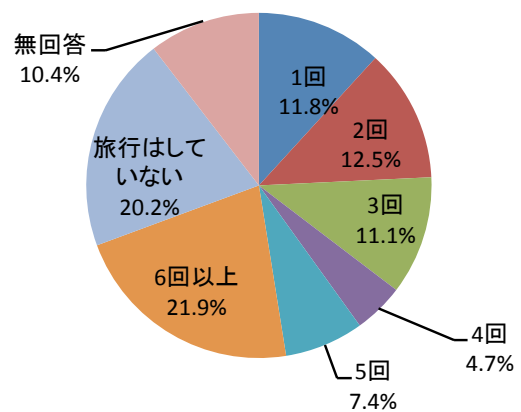


(4) 道南エリア観光の実態

(4-1) 旅行回数（最近一年間）

6回以上が最も多く（21.9%）、次いで、旅行なし（20.2%）と、両極端に分かれている。

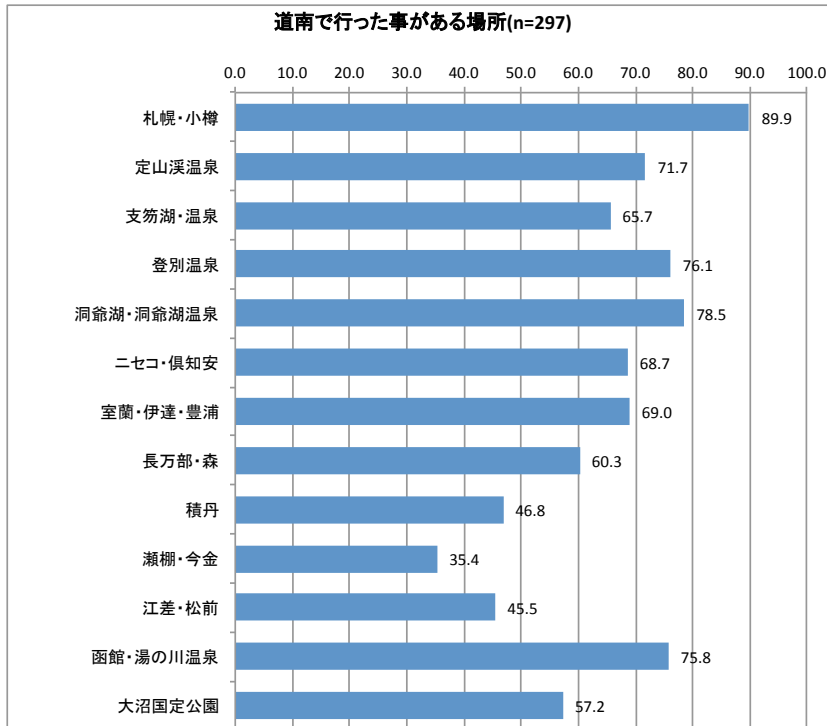
最近1年間の道南観光旅行回数(n=297)





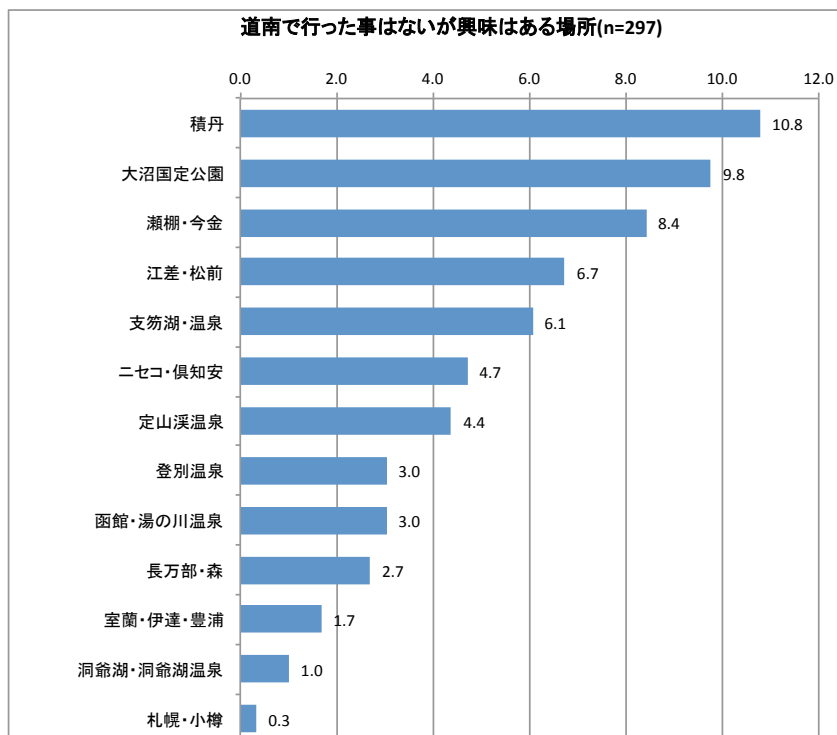
#### (4-2) 訪問地

道南エリア観光で行ったことがある場所は、「札幌・小樽」が最も多く、次いで洞爺湖（温泉）、登別温泉、函館・湯の川温泉となっている。



#### (4-3) 関心がある未訪問地

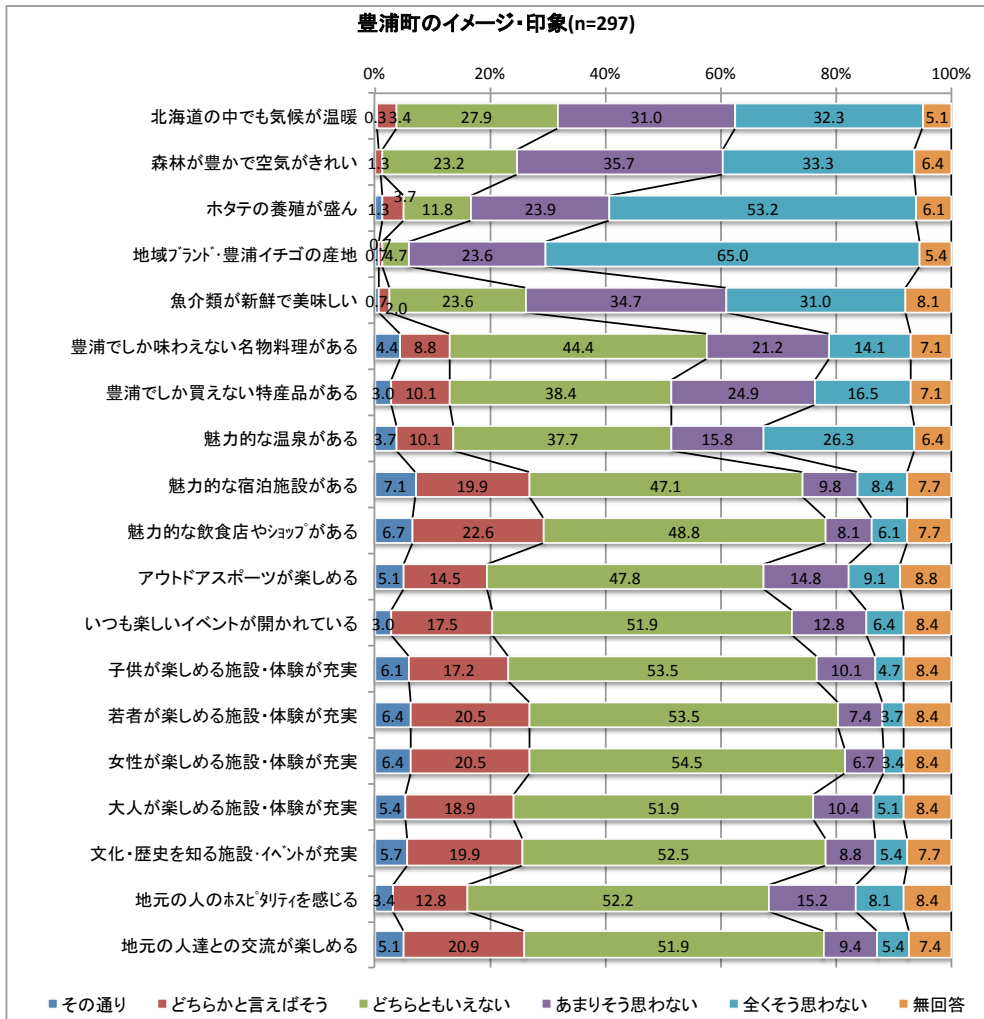
道南エリアで「行ったことはないが関心がある」地域は、積丹が最も多く、次いで、大沼、瀬棚・今金となっている。



## (5) 豊浦町について

### (5-1) 豊浦町のイメージ

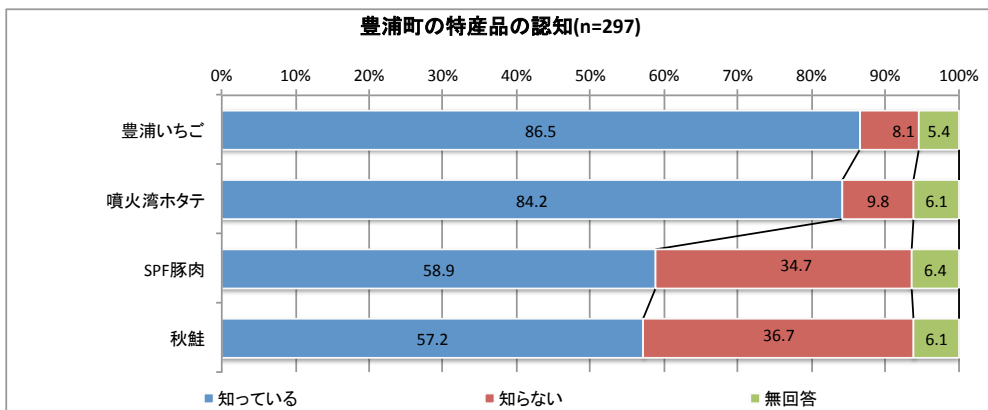
豊浦町を特色づけるイメージがあまりなく、町自体が知られていない状況にある。



### (5-2) 豊浦町の特産品について

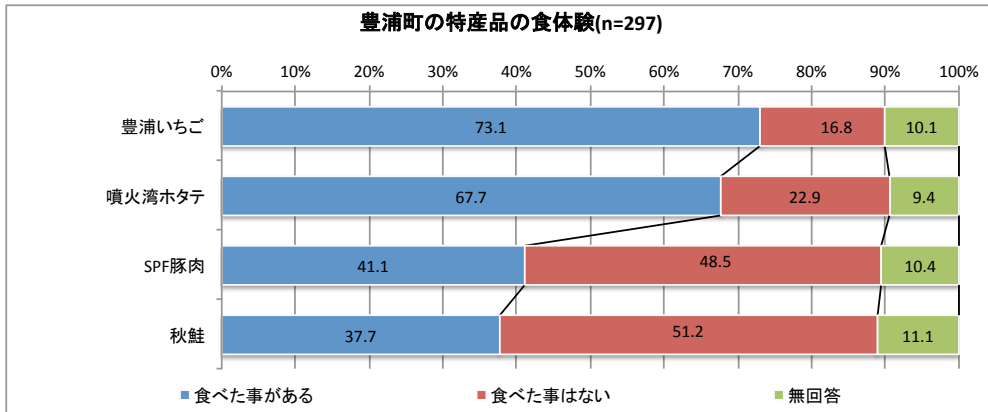
#### A) 認知

「いちご」「ホタテ」の認知度が高い。



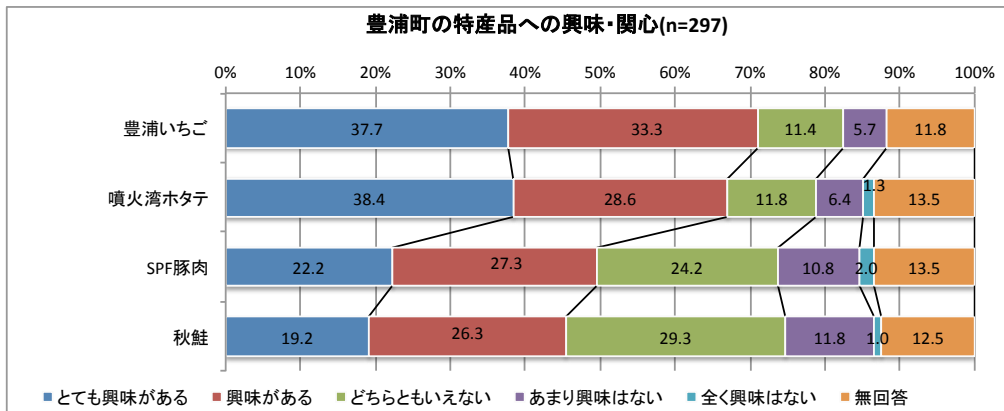
## B) 食体験

「いちご」「ホタテ」を食べたことがある者が多く、「SPF豚肉」「秋鮭」を食べたことがあるのは半数以下となっている。



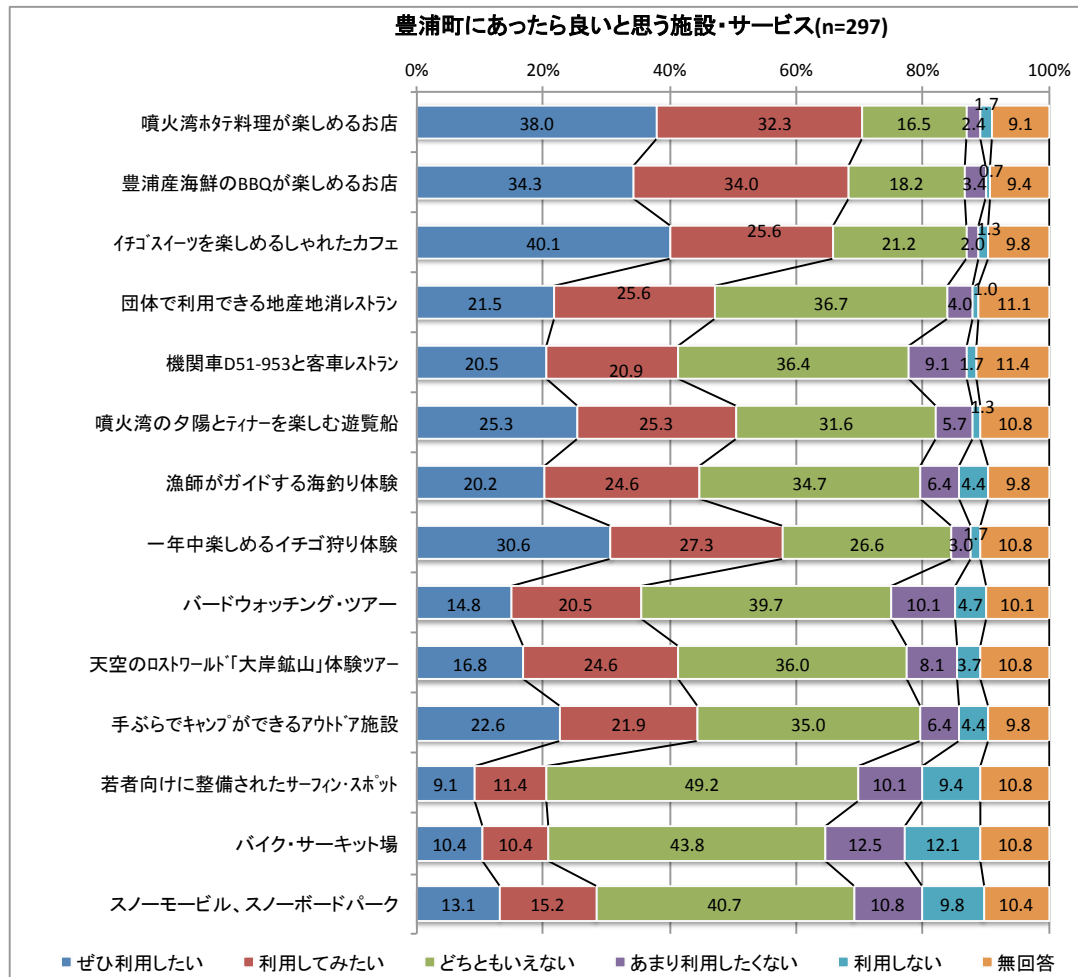
## C) 興味・関心

興味・関心も「いちご」「ホタテ」が高い。



### (5-3) 期待する施設・サービス

豊浦町にあつたら良いと思う施設・サービスは、「イチゴスイーツが楽しめるしゃれたカフェ」が最も多く(ぜひ利用したい:40.1%)、次いで、「ホタテ料理が楽しめる店」(ぜひ利用したい:38.0%)、「豊浦産海鮮のBBQが楽しめる店」(ぜひ利用したい:34.3%)となっており、「興味・関心が高い豊浦町の特産品の食体験」への期待が高いことがうかがえる。



### (6) 調査のまとめ

- ・現状では、立寄り目的は「温泉入浴」になっている
- ・「情報がない」「町のことを知らない」ことによって豊浦町の観光需要が潜在化している
- ・豊浦町の「食資源の体験」への関心が高く、豊浦町産の水産物やイチゴを食べる機会と場所(店)が期待されている